

WCAG2.1 要点

2018.6.5 勧告

(2008 年勧告の WCAG2.0 の拡張)

■0.2 WCAG 2 ガイドランスのレイヤー

WCAG を用いる個人や組織は実に幅広く、ウェブデザイナーや開発者、政策立案者、調達担当者、教師、及び生徒などが含まれる。これらの人たちの様々なニーズに応えるために WCAG 2.0 では、原則、一般的なガイドライン、検証可能な達成基準、十分な達成方法、参考達成方法、及びよくある失敗例を示した豊富な文書群を含む様々なレイヤーのガイダンスが、事例や参考リンク及びコードとともに提供されている。

・原則 - 最上位には、ウェブアクセシビリティの土台となる四つの原則がある：知覚可能、操作可能、理解可能、及び堅牢 (robust)。あわせて、Understanding the Four Principles of Accessibility [日本語訳] も参照。

・ガイドライン - 原則の下にあるのがガイドラインである。13 のガイドラインは、様々な障害のある利用者に対してコンテンツをよりアクセシブルにするためにコンテンツ制作者が取り組むべき基本的な目標を提供している。これらのガイドラインは検証可能ではないが、コンテンツ制作者が達成基準を理解し、より適した達成方法を用いることができるように、全体的な枠組みや全般的な目的を提供するものである。

・達成基準 - 各ガイドラインには、検証可能な達成基準が設けられており、デザイン仕様検討、調達、基準策定、及び契約上の合意などにあたりその要件や適合試験が必要となる際に WCAG 2.0 を用いることが可能である。様々な利用者層や状況からくるニーズを満たすために、三つの適合レベルが定義されている：A (最低レベル)、AA、AAA (最高レベル)。WCAG のレベルに関する補足情報は、Understanding Levels of Conformance [日本語訳] を参照。

十分な達成方法及び参考達成方法 - WCAG 2.0 文書自体にあるガイドライン及び達成基準それぞれに対して、ワーキンググループは達成方法についても広範囲にわたって文書化している。達成方法は参考情報であり、二つのカテゴリに分類される：達成基準を満たすのに十分な達成方法と参考達成方法である。参考達成方法は、個々の達成基準の要件を上回るもので、これらの達成方法を用いることで、コンテンツ制作者はガイドラインに対してより良い対処をすることができる。参考達成方法の中には、検証可能な達成基準によってカバーされていないアクセシビリティの問題に対処するものもある。よくある失敗例がある場合は、それも文書化されている。Sufficient and Advisory Techniques in Understanding WCAG 2.0 [日本語訳] も参照。

■0.3 WCAG 2.1 関連文書

WCAG 2.0 の文書は、安定した参照可能な技術標準を必要とする人たちのニーズを満たすように作成されている。関連文書と呼ばれるその他の文書は、WCAG 2.0 文書に基づいて、WCAG が新しい技術にどのように適用されるかを説明するために更新できるようにすることを含め、その他の重要な役割を果たすものである。関連文書には以下に挙げるものがある：

- ・ How to Meet WCAG 2.1 - WCAG 2.1 のカスタマイズ可能なクイックリファレンス。コンテンツ制作者がウェブコンテンツを制作したり評価したりする際に用いるガイドライン、達成基準、達成方法のすべてが含まれる。これには WCAG 2.0 および WCAG 2.1 のコンテンツが含まれており、関連するコンテンツにコンテンツ制作者がフォーカスできるよう、様々な方法でフィルタリングできるようになっている。

- ・ Understanding WCAG 2.1 [日本語訳] - WCAG 2.1 を理解して実践するための解説書。重要なトピックスとあわせて、WCAG 2.1 の各ガイドライン及び達成基準を「理解する」ための簡潔な文書がある。

- ・ Techniques for WCAG 2.1 [日本語訳] - 達成方法集及びよくある失敗例集。個々に別々の文書になっており、解説、事例、コード例、テストが含まれる。

- ・ The WCAG Documents - 技術文書群がどのように関係していてリンクされているのかを示した図と解説。

WCAG 2.0 に関する教育資料を含む関連資料の説明は、Web Content Accessibility Guidelines (WCAG) Overview を参照。例えば、ウェブアクセシビリティのビジネスにおける効果、ウェブサイトのアクセシビリティを改善するための実施計画作成、及びアクセシビリティ方針といったトピックに関する補足資料は、WAI Resources に挙げられている。

■0.5.1 WCAG 2.1 の新しい特徴

WCAG 2.1 は WCAG 2.0 に新しい達成基準やそれらを補助する定義、追加分をまとめるガイドライン、適合の節へのいくつかの追加によって拡張されている。この付加的なアプローチは、WCAG 2.1 に適合するサイトが WCAG 2.0 にも適合することを明確にするのに役立ち、それによって WCAG 2.0 固有の適合義務を満たす。アクセシビリティガイドライン ワーキンググループは新しい適合目標として、例えば公的義務が WCAG 2.0 に言及するものであっても、将来のポリシーの変更を鑑みアクセシビリティをより向上させるために、サイトが WCAG 2.1 を採用することを推奨する。

以下が WCAG 2.1 の新しい達成基準である：

- 1.3.4 表示の向き (AA)
- 1.3.5 入力目的の特定 (AA)
- 1.3.6 目的の特定 (AAA)
- 1.4.10 リフロー (AA)
- 1.4.11 非テキストのコントラスト (AA)
- 1.4.12 テキストの間隔 (AA)
- 1.4.13 ホバー又はフォーカスで表示されるコンテンツ (AA)
- 2.1.4 文字キーのショートカット (A)
- 2.2.6 タイムアウト (AAA)
- 2.3.3 インタラクションによるアニメーション (AAA)
- 2.5.1 ポインタのジェスチャ (A)
- 2.5.2 ポインタのキャンセル (A)
- 2.5.3 ラベルを含む名前 (name) (A)
- 2.5.4 動きによる起動 (A)
- 2.5.5 ターゲットのサイズ (AAA)
- 2.5.6 入力メカニズムの共存 (AAA)
- 4.1.3 ステータスメッセージ (AA)

これらの達成基準の多くは、新しい用語を参照している。その新しい用語はまた、用語集に追加されており、かつ達成基準の規定要件の一部を構成している。

適合の節では、ページ全体にページのバリエーションについて 3 番目の注記が追加され、適合表明の任意要素に機械的に読み取れるメタデータのオプションが追加されている。

